

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 末澤 壽一
 (コード番号 2282 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 コーポレート本部
 広報 I R 部長 中島 茂
 (TEL 06-7525-3031)

日本ハムグループ新中期経営計画に関するお知らせ

日本ハムグループは、平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日 (第 71 期～第 73 期) の 3 年間で、『新中期経営計画パート 5』とし、事業計画を策定致しましたので、その概略についてお知らせ致します。

『新中期経営計画パート 5』は、「変革による骨太なビジネスモデルの構築」をテーマに掲げ、成長戦略への転換をより一層加速させ、10 年後を見据えた長期レンジの中でありたい姿に到達するためのマイルストーンとして、日本ハムグループが新たなステージに向かうための足場固めを行う 3 年間と位置付けております。

新中期経営計画パート 5 最終年度において、売上高 1 兆 3000 億円、営業利益 520 億円、営業利益率 4%、ROE8%以上の達成を目標とします。

また、成長戦略を推進する中、事業部門向け評価指標として ROIC (投下資本税引後営業利益率) を導入することで、資金効率の向上を図るとともに、最適資本構成を追求し企業価値の向上を目指してまいります。

記

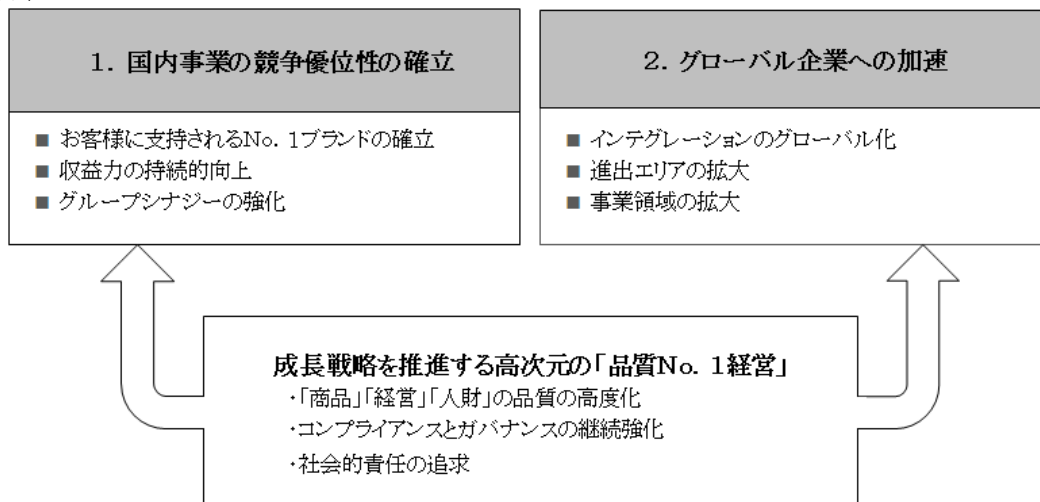
1. テーマ・経営方針・経営戦略

当社グループの強みである「インテグレーションシステム」を核とした国内事業の競争優位性の確立と、グローバル市場における売上拡大に向けた海外事業の拡充を基軸に、ビジネスモデルの変革や企業風土改革を促進するためのマーケティング・ブランディング・人材育成等のコーポレート機能の強化を図ることにより、骨太なビジネスモデルを構築します。

<テーマ>

変革による骨太なビジネスモデルの構築

<経営方針>



新中期経営計画パート2より掲げている「品質No. 1経営」については、「成長戦略を推進する高次元の品質No. 1経営」と位置付け、経営方針を支える屋台骨として継続して追求します。

<経営戦略>

1. 国内事業の持続的な収益力強化
2. 海外売上高の早期拡大
3. 戦略的ブランディングの推進
4. グループ横断型コーポレート機能の強化

2. 経営目標（連結）

	平成30年3月期（計画）	平成27年3月期（実績）
売上高	13,000億円	12,128億円
営業利益	520億円	484億円
営業利益率	4.0%	4.0%
ROE（当社株主に帰属する当期純利益）	8%以上	9.2%

3. 数値計画（ご参考）

① 利益・指標（連結）

	平成30年3月期（計画）	平成27年3月期（実績）
税引前当期純利益	500億円	445億円
当社株主に帰属する当期純利益	330億円	310億円
ROIC（NOPAT）	6%以上	6.4%
D/E レシオ	0.40～0.50	0.39

② 設備投資・減価償却（連結）

	3か年累計（計画）
設備投資	1,470億円
減価償却	665億円

③ オペレーティング・セグメント情報

	平成30年3月期（計画）		平成27年3月期（実績）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
加工事業本部	3,900億円	90億円	3,600億円	21億円
食肉事業本部	9,000億円	410億円	8,508億円	452億円
関連企業本部	1,640億円	20億円	1,552億円	3億円
連結計	13,000億円	520億円	12,128億円	484億円

※連結計は、消去調整後の数値

※「新中期経営計画パート5」並びにその見直し・修正計画など（以下、「当中期経営計画」）は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した計画・目標であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また実際の業績等も当中期経営計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、当中期経営計画のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、日本ハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。

以 上